

「くまの木」ヒトとムシの楽園プロジェクト

会報ムシプロ2号

2017年4月



カタクリ (ユリ科 多年草)

目次

1. 4月活動について 2
2. ムシプロだより 3
3. 自然の楽しみ方 (春) 4
4. 事務局より 5
- 今月の表紙 5

1. 4月8日（土）の活動について

4月8日（土）の活動の概要です。※天候等により変更になる場合があります。

① 作業の内容

第二ビオトープの土で固めた観察路と花壇の整備を行います。

- 観察路は、2015年7月に整備をしましたが、観察路の側面が崩れてきたので補強し直します。当日は、作業をしやすいように水を抜いてあります。

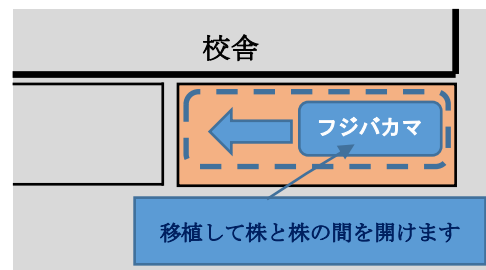


←2015年
7月の状況



←現在の状況、
側面が崩れて
いる。

- 花壇は、フジバカマの株が混み合ってきたので移植します。またオミナエシ（1株）、カラミンサ（4株）の苗を植えます。



② 観察の見どころ

春の観察は、カタクリの他に可憐な花やムシたちとの出会いがあります。雑木林まで続く道を歩きながらこの時期にしか会えない生き物たちを愉しみましょう。

また、画像にはありませんがヒオドシチョウやイカリモンガも観察できました。冬を成虫で越したタテハチョウの仲間をバナナトラップで誘ってみるのも面白いかもしれません。



ミヤマセセリ



エイザンスミレ



イチリンソウの仲間



樹液に来たルリタテハ



ルリソウ



ニリンソウ

2. ムシプロだより

① 雑木林の様子

2017年3月4日（土）遠藤さんと4月の活動でカタクリを観察する雑木林の様子を見てきました。この日は、とても暖かく、早春に咲く花たちが春の陽射しで輝いていました。また、カタクリの葉が地上に姿を現していました。



フクジュソウ



イチリンソウの仲間



カタクリの葉

② スタッフの近況

ライトトラップなど各種トラップの作成や4月の活動でシノダケを提供してくれる大原さんの近況です。

3月上旬、少しずつ暖かくなってきたので気になっていたユズの剪定をしました。ユズは真上に伸びて行ったがるのでほうっておくとすぐにハシゴも届かなくなってしまいます。幸か不幸か家の周りにはアゲハ類はそれほど多くは居ないようで、「葉っぱを食われて困る」ということは無いですね。

それにしても、この大きなトゲで何から身を守ろうとしているのでしょうか？

(写真・文 大原 健)



鉢底ネットとザルで作ったトラップを説明する大原さん



3. 自然の楽しみ方（春）

● 鳥たちの春（冬とともに去りぬ）

冬は、鳥を見るのに適した季節だ。なぜなら木々が葉を落とし鳥の姿が良く見えるようになるからだ。さらに季節限定の鳥（冬鳥）を見ることが出来る。

渡りを前にした冬鳥は、どこことなくソワソワしているように見える。3月上旬、目の前に止まったジョウビタキに「秋に会おう」と声をかけたらオジギをして飛び去った。
(写真・文 西野 孝法)



冬鳥として飛来、翼に白い模様、雄は胸から腹が橙色そして銀色の帽子。

全長:約 15cm

● ムシたちの春（待ちわびた陽の光）

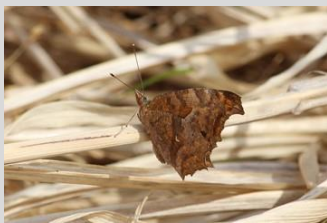
ムシたちの一生は実に多様性に富んでいる。冬の過ごし方もそれぞれの生活史に応じて最適な形で過ごす。タテハチョウに属するキタテハは成虫で冬を越す。冬越しをしている姿を探し出すのは難しいが晴れて気温が上がると日向ぼっこに出てくるので出会うことができる。

春の陽射しが心地よいのでフィールドに出ると、キタテハが現れ羽を広げて日向ぼっこを始めた。厳しい冬を越して春を喜んでいるように見えた。暫く二人（正確には一匹と一人）で春の陽射しを楽しんだ。(写真・文 西野 孝法)



羽の一部が欠けている。厳しい冬を過ごしてきた証だ。

羽の角度に注目



陽が陰っていたり、風が強いと羽を閉じている。(左)



陽が当たり始めると羽を開き陽の光を全身で受け止める。(中央)



やがて開いた羽の角度が水平より下に傾けるようになる。(右) 羽を閉じる為に緊張させていた筋肉をストレッチで伸ばしているように見える。「ああ～気持ちイイ～」という声が聞こえてくる。

4. 事務局より

会報の「表紙」と「自然の愉しみ方」で紹介した画像をイメージゲートウェイに登録しています。Wordに貼りつけてある画像より綺麗です、ご覧ください。アドレスは以下のとおりです。パスワードは、必要ありません。

<https://opa.cig2.imagegateway.net/s/cp/DMCYuTBGLSE>

画像はダウンロードできます。

2017年4月1日発行

発行： くまの木ヒトとムシの楽園プロジェクト

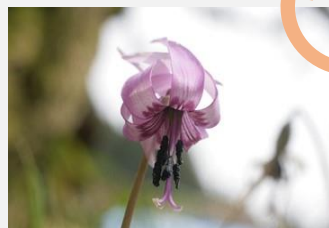
編集責任者： 西野 孝法

〒262-0026 千葉県 千葉市 花見川区瑞穂3-3-26

TEL: 090-9327-5606

Eメール：harukan@ac.auone-net.jp

今月の表紙



カタクリ (ユリ科 多年草)

二枚の葉の間から花茎を一本伸ばし、先端に赤紫の花を咲かせる。花期は3月下旬～4月中旬で、一年のうち約10ヶ月近くを地下で休眠する。

種から花が咲くまで7～8年かかるとされている。未だわからないことが多くある。

カタクリの花弁は、光と温度に敏感でよく動く。日の出とともに花弁が開き始める。開き方は、6枚ある花弁の外側の3枚が先に開き、これに内側の3枚が続き、やがて反り返る。反り返り過ぎて風車のようなものもある。そして日暮れとともに閉じる。

この動きは、カタクリの魅力の一つだ。

(写真・文 西野 孝法)